

平成20年3月24日

平成20年3月卵稚仔調査結果速報

鹿児島県水産技術開発センター

独立行政法人 水産総合研究センターの委託事業である資源評価調査事業において下記のとおり卵稚仔調査を行ったので、結果をお知らせします。

1 調査日

平成20年3月5～9日

2 調査船

くろしお(260トン)

3 調査方法

図の25定点において改良型ノルパックネットにより卵・稚仔魚等を採集し、分布域、数量等を調査した。数量比較は、県西部および薩南・県東部海域における1定点あたりの平均採集等を過去の数値、5ヶ年の平均値と比較した。

4 調査結果

【カタクチイワシ】

県西部海域

・卵の分布状況

甕海峡南部で2000個体以上の極めて高い密度の分布が見られ、1定点あたりの平均採集数は前年・平年を著しく上回った(平年の6倍超)。

・稚仔魚の分布状況

特に高い密度の分布は見られず、1定点あたりの平均採集数は前年・平年を大きく下回った(平年の1/3未満)。

薩南・県東部海域

・卵の分布状況

枕崎沖でかなり高い密度の分布が見られ、1定点あたりの平均採集数は前年・平年を上回った。

・稚仔魚の分布状況

特に高い密度の分布は見られず、1定点あたりの平均採集数は前年・平年を大きく下回った(平年の1/2未満)。

【その他のイワシ類】

マイワシの卵の採集はなく、稚仔魚は錦江湾湾口部で1個体を採集した。ウルメイワシは県西部海域では卵の採集はなく、稚仔魚は宇治群島北西沖で1個体を採集した。薩南・県東部海域では卵は種子島東、黒島北西で各1個体あり、稚仔は竹島北で2個体、大隅海峡で1個体を採集した。

